

令和7年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立中大江幼稚園

令和8年3月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

幼小交流や未就園児との交流では自信をもって行動する態度や、「あいさつウィーク」では地域の方に元気にあいさつをする態度が育ってきた。引き続き異年齢活動の充実と共に、本園が創立140周年を迎えるにあたり、地域の方との交流の機会を通して、子ども達が身近な人とかかわる楽しさを感じ、自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いを受け止めたりする経験の充実を図りたい。

季節や発達段階に応じた運動遊びの環境を工夫したことで、子ども達は運動的な遊びに意欲的に取り組むようになってきた。今年度は、子どもたち自身が安全を意識しながらさらに主体的に体を動かすことのできる環境の工夫を図りたい。

歯科検診の結果から、今年度は歯磨き指導を通して、基本的な生活習慣の自立につながるような保育の充実を目指す。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度末の本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

- ・「子どもは、安心して幼稚園で過ごしていますか」
- ・「幼稚園は、いろいろな人とのかかわりを通して、思いやりの心を育てていますか」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度末の本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

- ・「子どもは、幼稚園生活の中で様々なことに心を動かし、主体的に遊んでいますか」
- ・「子どもは、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」
- ・「幼稚園は、基本的な生活習慣が身につくよう努めていますか」

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度末の本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

- ・「幼稚園は、教員の資質向上に努めていますか」
- ・「幼稚園は、教育内容について分かりやすく伝えていると感じますか」

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

○令和7年度、本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

- ・「子どもは、安心して幼稚園で過ごしていますか」
- ・「幼稚園は、いろいろな人とのかかわりを通して、思いやりの心を育てていますか」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

○令和7年度、本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

- ・「子どもは、幼稚園生活の中で様々なことに心を動かし、主体的に遊んでいますか」
- ・「子どもは、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」
- ・「幼稚園は、基本的な生活習慣が身につくよう努めていますか」

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

○令和7年度、本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

- ・「幼稚園は、教員の資質向上に努めていますか」
- ・「幼稚園は、教育内容について分かりやすく伝えていると感じますか」

3 本年度の自己評価結果の総括

今年度の年度目標については、保護者アンケートの肯定的な回答の結果から、総合的に達成できたと評価できる。

幼小交流や未就園児との交流では、自ら進んで関わろうとする態度や、あいさつウィークでは友達と共に元気にあいさつをする態度が育った。また、創立140周年を友達・先生・保護者・地域の方々など、たくさんの人と一緒に祝うことで、幼稚園や地域への愛着や、身近な人への親しみや感謝を感じ、伝える経験ができた。様々な人との関わりを通して、自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いを受け止めたりする力の基礎を育むことができた。

子どもの実態を活かした内容の、園内安全マップなどの環境を整えたことで、日常的に子どもたち自身が安全を意識して生活する態度が育った。

幼稚園での保健指導と共に、中大江小学校の養護教諭や保健委員との連携した取り組みにより、子ども達の歯と口への興味や関心が高まり、弁当後の歯みがきもていねいに取り組む態度が育ち、基本的な生活習慣の定着につながった。

中期目標については、取り組みの最終年度である今年度の保護者アンケートの結果から、総合的に達成できたと評価できる。来年度からの運営に関する計画に活かしていきたい。

大阪市立中大江幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和7年度、本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもは、安心して幼稚園で過ごしていますか」 ・「幼稚園は、いろいろな人とのかかわりを通して思いやりの心を育てていますか」 	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>一人一人の子どもが、安全・安心に幼稚園で過ごす安全指導の工夫をする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全指導を、学期に1回以上実施する。 ・避難訓練を、年8回以上実施する。 ・園内委員会を、学期に1回以上実施する。 	A
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】</p> <p>様々な交流活動を工夫し、身近な人への親しみを深める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小交流活動を小学校各学年と1回以上行う。 ・異年齢活動を、月1回以上行う。 ・地域交流活動を、年5回行う。 ・あいさつウィークを、年10回行う。 	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは、Aあてはまるが75%Bだいたいあてはまるが25%であった。 ・1学期は東警察署の交通安全指導を受けたり、『なかおおえ安全マップ』を作成したりして、園内外の危険な場所を視覚的に知らせたことで安全を意識して遊ぶようになった。また、中央区役所のゆめまるパトロール隊の防犯指導を受け、長期休業に入る前に安全意識を高めた。2学期は園舎外壁工事の状況に合わせて子どもたちが安全に過ごせるように連携した。12月には保健指導で園内の危ない場所を探して『あぶないマーク』を貼り、視覚的に知らせたことで意識している姿が見られた。3学期には教職員が『幼児視界体験メガネ』を活用し、環境の見直しや安全に関する教材を作成し掲示し、ホームページなどでも安全指導の内容を発信した。子ども同士で声を掛け合い気をつけて行動する力が育った。 ・避難訓練は様々な想定で8回行い、命の大切さと共に、命を自ら守る訓練を行うことにより、予告なしの訓練や、不審者を想定した訓練でも落ち着いて行動できるようになった。 ・園内委員会を3回、巡回指導2回、様々な関係諸機関との連携により、子ども一人一人に応じた支援の在り方を教職員で共有し、一人一人の子どもに応じた保育の充実につながった。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは、Aあてはまる79%、Bだいたいあてはまる21%であった。 ・幼小交流の年間計画に基づき、小学校との交流活動を小学校各学年と1回以上、計12回（6年生との園庭遊び、4年生による絵本読み聞かせ、種花事業で育てた花苗を飼育栽培委員に

贈る活動、保健委員による歯みがき指導、幼小合同避難訓練、幼稚園の140周年お祝いメッセージの贈呈式、2年生とのおもちやまつり、1年生との作品展見学、5年生との凧揚げ、3年生との音楽交流、1年生の給食参観・授業参観) 行い、小学生への親しみや憧れをもつ機会となった。特に、年長児は就学への安心や期待、年下の友達への思いやりをもつことにつながった。

- ・日常の遊びを通じた関わりや異年齢チームでの活動を通し、年少児・年中児は幼稚園で過ごす安心感や年上の友達への憧れをもったり、年上の友達を手本に、年下の友達へ優しく関わろうとする姿が見られたりした。年長児は年下の友達を思いやる気持ちや年長児としての自覚をもつことにつながった。また、未就園児に園庭を開放するなかよしデーで、年長児が進んで関わろうとする姿にもつながった。
- ・地域交流活動を計14回(地域の方とこいのぼりをあげる活動、地域の方との芝生の苗植え、中央区役所・大阪公園事務所・地域ボランティアとの種花事業、中大江公園清掃、釣鐘堂の見学、種花事業で育てた花苗を中大江公園愛護会へ届ける活動、東警察署の交通安全指導、島之内図書館のボランティアによる絵本の読み聞かせ、食生活改善推進委員会の食育講演、歯科衛生士・歯科園医の歯みがき指導、中央区役所のゆめまるパトロール隊の防犯指導、幼稚園140周年記念式典、東中学校の職場体験、4歳児訪問事業) 行い、地域の方との交流を深めた。また9月には、本園の創立140周年記念式典を行い、幼稚園の歴史を知り、お祝いの歌や言葉を披露し、地域の方と一緒にお祝いをする中で、幼稚園への親しみや愛情を育むことができた。
- ・あいさつウィークは5月から計10回行った。年長児が当番制で幼稚園の門に立ち、あいさつをした。子どもやその保護者だけでなく、地域の方へも進んであいさつをすることを目標にし、あいさつを通して心が通う喜びを感じられた。また、年長児があいさつウィークを知らせるポスターや当番で使うたすきを作成したことで当番への期待や意欲につながった。11月からは、年中児も当番活動をし、年長児は手本となったこと、年中児は年長児と一緒に当番活動をしたこと、また、年少児は年上の友達が当番する姿に刺激を受け、あいさつへの意識が高まり、自分からあいさつをする姿が増えた。

次年度への改善点

- ①
 - ・安全指導や掲示内容の工夫をすることで、安全面について自ら意識を高めていけるような環境づくりに努める。
 - ・避難訓練を通して、訓練の必要性や命の大切さを感じられるような取り組みを工夫する。
 - ・園内委員会や様々な関係諸機関と連携し、子ども一人一人の幼児理解を深め、安心して園生活を過ごせるようにする。
- ②
 - ・小学校と連携して、子どもたちが互いに学び合う幼小交流を工夫する。
 - ・遊びや行事を通して異年齢交流ができるように保育の工夫を行う。
 - ・地域と連携した保育を工夫し、地域方々との交流を深める。また、未就園児に園庭を開放するなかよしデーでは、未就園児が継続的に参加できるような取り組みを工夫する。
 - ・月1回のあいさつウィークを通してあいさつへの意識を高め、家庭にも啓発する。

大阪市立中大江幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和7年度、本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもは、幼稚園生活の中で様々なことに心を動かし主体的に遊んでいますか」 ・「子どもは、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」 ・「幼稚園は、基本的な生活習慣が身につくよう努めていますか」 	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【3 幼児教育の推進と質の向上】</p> <p>就学前教育カリキュラムに基づき、一人一人が主体的に遊びを楽しむ環境構成や援助の工夫をする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日案・週案・指導計画・教育課程などの作成に、就学前教育カリキュラムを月1回以上活用する。 ・週案の打合せを確実にし、知徳体のバランスの取れた保育の充実を図る。 	A
<p>取組内容②【4 健やかな体の育成】</p> <p>遊びを通して、体を動かす楽しさを味わえるような活動を工夫する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさを感じられる保育環境の見直しや検討会を、学期に1回以上行う。 ・ぱわふるウィークを、年10回行う。 	A
<p>取組内容③【4 健やかな体の育成】</p> <p>就学前教育カリキュラムに基づき、歯に関する指導の工夫を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯に関する保健指導を、学期に1回以上行う。 	A
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは、Aよくあてはまる72%、Bだいたいあてはまる28%であった ・日案・週案・指導計画・教育課程について、子どもの実態と就学前教育カリキュラムを参考に知徳体をバランスよく育む内容を作成することができた。 ・月毎にまとめて、週案の打ち合わせを行うことで、見直しをもった保育展開を行うことができた。また、保育の流れを共有することで、保育における協力体制が整った。 ・年長児は、運動会・作品展・生活発表会を通して、教師や友達と励まし合いながら意欲的に活動に取り組む経験や、力を合わせる喜びが自信につながった。年中児は、一人一人の子どもたちの興味や関心、発達に応じた遊びの展開に努めたことで、満足して遊ぶ姿や、少しずつ友達と自分の思いの違いにも気持ちが向くようになってきた。年少児は、子どもの思いを受け止め、一人一人が安心して生活することを大切にすることで、自分の好きな遊びを見つけ、教師や友達とのびのび遊ぶ意欲が育った。 	

②

- ・保護者アンケートでは、Aよくあてはまる84%、Bだいたいあてはまる16%であった。
- ・1学期は、体操の年間計画を作成し、教師や友達と一緒に体操を通して体を動かす楽しさを味わえるよう工夫した。2学期は、打ち合わせや日々の保育後に子どもたちの姿を職員間で共有することで、園庭で存分に体を動かして遊ぶ時間や場の確保ができ、興味や関心、発達に応じた遊びを展開することにつながった。3学期は、生活発表会において子どもたちの実態に応じた題材を選んだり、興味や関心をもった体操や歌などを取り入れたりしたことで、自己発揮する姿につながった。日々子どもの成長や変化などを職員間で共有してきたことで、子どもの姿を多面的に捉えながら遊びを展開することができた。
- ・ばわふるウィークを5月から計10回行った。1学期は体を動かす楽しさを味わえるよう、誕生会や集会、異年齢交流において、年間計画に基づき共通の体操を保護者や友達と一緒にやった。2学期は、『自分のリュックサックを自分で持とう!』『歩いて登園しよう!』など実態に応じた具体的な目標を毎月決めて取り組んだ。3学期は、『自分でできることを増やそう!』という全体目標に加え、各クラスの目標を友達と話し合っ決めて。自分たちで目標を決めることで、友達と声を掛け合ったり、自分でやってみようという意欲をもって取り組んだりする姿が見られた。子どもの実態に応じた具体的な目標をタイミングよく取り入れたことで、ばわふるウィークが終わった後も引き続き目標を意識して頑張る意欲が育った。また、子どもが作成したポスターを保育室などに掲示したり、園だよりや降園連絡、ホームページを活用し、保護者へも啓発を行ったりしたことで、ばわふるウィークへの意識がより高まった。

③

- ・保護者アンケートでは、Aよくあてはまる68%、Bだいたいあてはまる32%であった。
- ・各学年、弁当の開始に合わせて歯みがき指導を行った。6月にはどうして歯がむし歯になるのか、丁寧な歯のみがき方などの保健指導を行った。11月には、噛むことの大切さについての保健指導を行い、噛むと体に良いことがあることやよく噛むためにできることなどを知らせた。2月はおやつを食べ方についての保健指導を行った。むし歯菌は特に甘いおやつが好きなことやおやつは時間を決めて食べると良いことを知らせた。年中・年長児にはジュースにどのくらい砂糖が入っているか知らせるため、本物の角砂糖(約3g)を使い、一緒に数えた。子どもたちの予想よりも多くの砂糖が入っていることに興味や関心を持っている姿が見られた。おやつを食べ方を考えた時には、甘いおやつのは砂糖の含まれていないお茶を飲むと良いことやジュースはコップに入れると良いと気がつき発言している姿が見られた。
- ・7月に歯科衛生士や小学生の保健委員による歯みがき指導を行った。12月には小学生の保健委員会が作成したデジタル紙芝居を視聴した。歯みがきの大切や、むし歯になると歯がどうなるのかなどわかりやすい内容で子どもたちも喜んで視聴している様子が見られた。
- ・保健指導の内容は臨時の保健だよりを発行し、保護者へ配付した。また、ホームページも活用し保護者に知らせた。デジタル紙芝居は2学期の終業式で保護者にも視聴してもらい啓発を行った。

次年度への改善点

①

- ・就学前教育カリキュラムを参考に、知徳体のバランスのとれた保育実践に努め、一人一人が「やってみたい」と夢中になる遊びを十分に楽しむことができるように、今後も教職員で、協力しながら環境構成に取り組み、保育の充実に努める。

②

- ・教職員で連携しながら子どもの実態に合わせて体を動かす楽しさを感じられる保育の充実に努める。
- ・子どもの実態に応じた目標を決め、保護者と連携しながら、ばわふるウィークの充実に努める。

③

- ・子どもたちが興味や関心をもてるような指導の工夫を行う。
- ・ホームページやほけんだよりなどを活用し、保護者啓発と連携を図る。
- ・幼小交流が継続できるように担任や小学校の養護教諭と連携を図る。

大阪市立中大江幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和7年度、本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園は、教員の資質向上に努めていますか」 ・「幼稚園は、教育内容について分かりやすく伝えていると感じますか」 	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>研修会に参加したり園内研修を計画的に行ったりして、教職員の学び合いに努める。</p> <hr/> <p>指標 ・参加した研修の伝達を、教職員間で1人1回行う。</p> <p>・園内研修を、年3回以上行う。</p>	A
<p>取組内容②【9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>子どもの育ちを保護者や地域へ発信し、幼児教育の理解につなげる。</p> <hr/> <p>指標 ・学期末の保護者会・毎月のクラスだより・週1回以上ホームページの更新で、幼稚園の教育内容を発信する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>①・保護者アンケートでは、Aよくあてはまる81%、Bだいたいあてはまる19%であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員が参加した研修会の資料を回覧したり、伝達し合ったりしながら、学んだことの情報共有を行い、子どもに寄り添った声掛けや支援方法などを教職員同士で学び合った。 ・1学期の園内研修支援では、子どもが遊び込める時間や空間の確保の方法や、教職員の学び合いの重要性を学んだ。 ・2学期は、9月に年中児、10月に年少児、12月に年長児の園内研修を実施し、教職員間で保育を見合うことで、一人一人が意欲的に遊ぶことができるような言葉掛けや環境構成について学び合うことができた。 ・指導要請を12月に実施し、担当教育指導員から保育の改善点や教育的意図をもった教師の援助について学んだ <p>②・保護者アンケートでは、Aよくあてはまる70%、Bだいたいあてはまる30%であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期末の保護者会のパワーポイントや、クラスだよりで子どもの育ちにつながる姿を具体的に発信した。また、クラスだよりは園内に掲示することで、来園者にも発信する機会になっている。園のホームページがリニューアルしたことを機に、全教職員が更新作業に取り組むことができるように研修を受け、様々な視点で教育内容を発信することができた。

次年度への改善点
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加した研修会の情報共有や、研修資料の回覧を行い学び合う。 ・園内研修を計画的に行い、教員同士の学び合い、資質向上に努める。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も保育のねらいや子どもの育ちをタイミングよく発信できるように、教職員で多面的に子どもの育ちを見取ったり、共有したりしながら保育の充実を図る。

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立中大江校園 学校協議会

1 総括についての評価

- ・ 小学校・幼稚園共に、現状や課題から設定した目標に向けて、教育活動の工夫や、教員の指導力の向上に努めていることが理解できた。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

小学校

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を83%以上にする。
(R6本校81.1% 市81.5%) (R7本校80.7% 市83.0%)
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
(R6本校2.08%) (R7本校2.99%)
- ・ 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
(R6本校93.7% 市95.0%) (R7本校95.4% 市95.1%)
- ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
(R6本校82.3% 市80.0%) (R7本校78.0% 市81.9%)

○ 達成状況の評価に関しては妥当である。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
(R6 3年1.08 4年1.06 5年1.06)
(R7 4年1.08 5年1.13 6年1.05)
- ・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
(R6本校84.3% 市78.7%) (R7本校84.3% 市78.3%)
- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。
(R6本校43.7% 市40.5%) (R7本校46.5% 市41.6%)
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。
(R6本校69.0% 市68.9%) (R7本校68.5% 市69.2%)

○ 達成状況の評価に関しては妥当である。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕(R7本校8.0%【1月末】)
- ・ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を70%以上にする。
(R6本校69.05% 市62.16%) (R7本校70.21%【2月末】)

○ 学習者用端末の使用率は少しずつ向上しているため、このまま継続して使用率を上げていく必要がある。

幼稚園

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度、本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

- ・「子どもは、安心して幼稚園で過ごしていますか」
- ・「幼稚園は、いろいろな人とのかかわりを通して、思いやりの心を育てていますか」

○ 達成状況の評価に関しては妥当である。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度、本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

- ・「子どもは、幼稚園生活の中で様々なことに心を動かし、主体的に遊んでいますか」
- ・「子どもは、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」
- ・「幼稚園は、基本的な生活習慣が身につくよう努めていますか」

○ 達成状況の評価に関しては妥当である。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度、本園アンケート調査で、次の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

- ・「幼稚園は、教員の資質向上に努めていますか」

○ 達成状況の評価に関しては妥当である。

3 今後の学校園の運営についての意見

- 児童、園児の様子から、学校園の教育力とともに、地域の教育力の高さを共通理解した。
- 児童の多様性を包摂する取組を小学校、幼稚園ともに進めていることが確認された。
- 規範意識について、子どもに伝えるだけでなく、保護者への啓発も必要であるという意見が出た。

